

【展示・イベント案内】

土佐山田町立美術館
2Fアトリエ+ロビー (入場無料)

路地観察プロジェクト展 メイン展示

9/17-10/10
9:00~17:00(入場15:30まで)
注) 展示中休館日 9/20・25・10/3

「路地キーワード」
路地の多様な魅力を探る、プロジェクトメンバーたちの路地観察を楽しむための53のキーワード。
「路地マップ」
実際に土佐山田町内の路地に線り出し、お気に入りの路地や場所を見つけてマップにしました。
「路地インタビュー」
路地の思い出、路地のミロク、路地の事情について路地人に話をしました。
「路地アソビ」
こんなことをしたら路地がもっと楽しくなる！そんな路地での・・・遊びの記録。
「路地プロ・クロニクル」
路地観察プロジェクト、その活動の記録映像(実はただのスライドショー)。見る価値アリ？



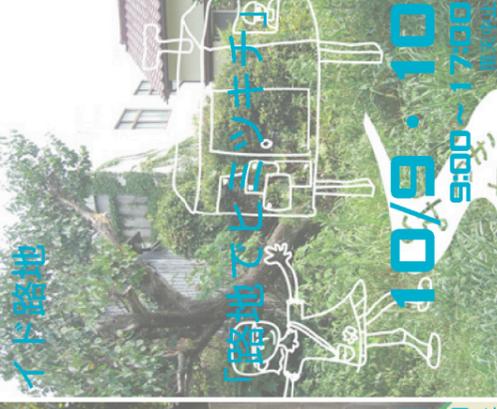
ケンパ路地



ホコラ路地



タモン路地



イト路地

路地沿いに住む人たちと、スクリーンに映し出される路地観察プロジェクトの活動風景を見ながら、路地やこれからの土佐山田について語り合います。
おいしい食事においしいお酒、そして楽しいおしゃべり。
路地からふらっとお立ち寄りください。

草の子どもは自分たちで考えながら路地遊びを楽しみました。
大きな壁があればキャンパスに変えて落書きをします。
壁に落書きをすれば落られるので、壁に落書きするようないきかたで自由に自由に落書きをしましょう。

子どもたちのあこがれ「ヒミツキチ」。
路地の隙間や空き地にコードモンスターを「ヒミツキチ」を作ります。
そして缶けり、ママゴト、鬼ゴッコ。コードモンスターはここを拠点に路地を遊びます。
オトナにはナイショの話。



路地コラム text by タムラトモカズ

私たちの知っている土佐山田の路地もいつか消えてしまうのかもしれない。昨日立ち話をした、今日通った、何気ない普通の路地は明日消えてしまうかもしれないのだ。しかし消えてしまう前にもう一度人々が路地に目を向ければ何かが変わるのではないだろうか。地域の人たちが通る人たちが、そんな人たちが路地に目を向ければきっと何か変わると信じていたい。

私たちが「路地観察プロジェクト」は何かを変えたいというような大層な力を持っているわけではない。ただ活動する上で人々が路地に目を向けるきっかけになれたらいいと考えている。

路地が消える理由としては、都市の成長過程における区画整理等がその理由の大部分だろう。高知で例えるなら薊野の辺りが分かりやすいだろうか。

薊野の辺りは田畑が多い住宅地だった。そこに北環状線が通り、イオン高知が outlet、あれよあれよという間に市街地化が進んでしまった。いくつかの路地といくつかの田畑を地図から消して。その中には子供の頃の私が遊んだ路地も含まれているが、周辺の変化があまりにも激しすぎてどの辺りにあったのか思い出せない。今にして思えばもつと記憶に焼き付けておけばよかったと思う。

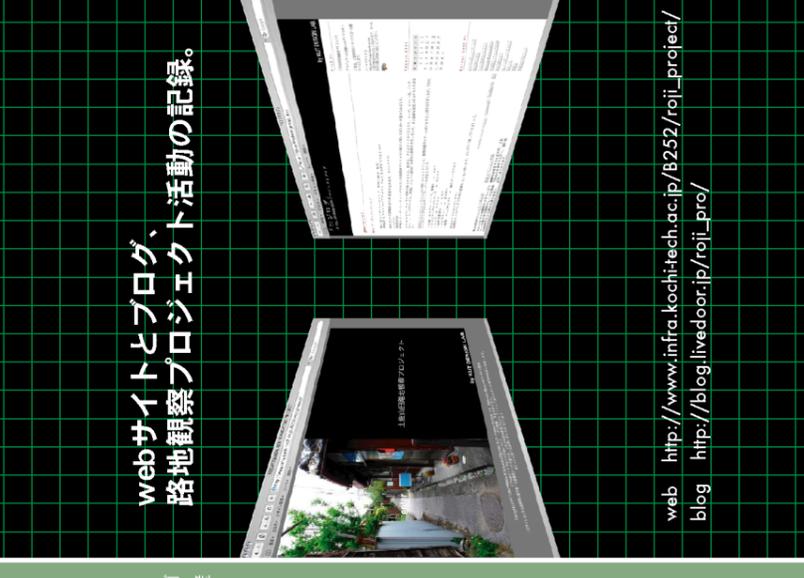
子供の頃に遊んだ路地はもうない。おそらく誰もがそういう経験をしたことがあるのではないだろうか。自宅や友人の家に接する路地でパン(四角いメンコ)を奪い合ったり、みんなで作った紙飛行機の飛ばし合いっこをしたり…。そんな幼少期おける遊技場であり社交場でもあった路地が今徐々に姿を消していつている。



ココドコ?
私たちが土佐山田町内を活動中している時に見つけた何となく不思議なモノ。さあ、どこにあるでしょう?

あるアパートの壁のドア...って階段がない! どうやって出入りするんだ?

まるで銀色のダンゴムシ。ある建物の壁に張り付いています。



webサイトとブログ、
路地観察プロジェクト活動の記録。

web http://www.infra.kochi-tech.ac.jp/B252/roji_project/
blog http://blog.livedoor.jp/roji_pro/